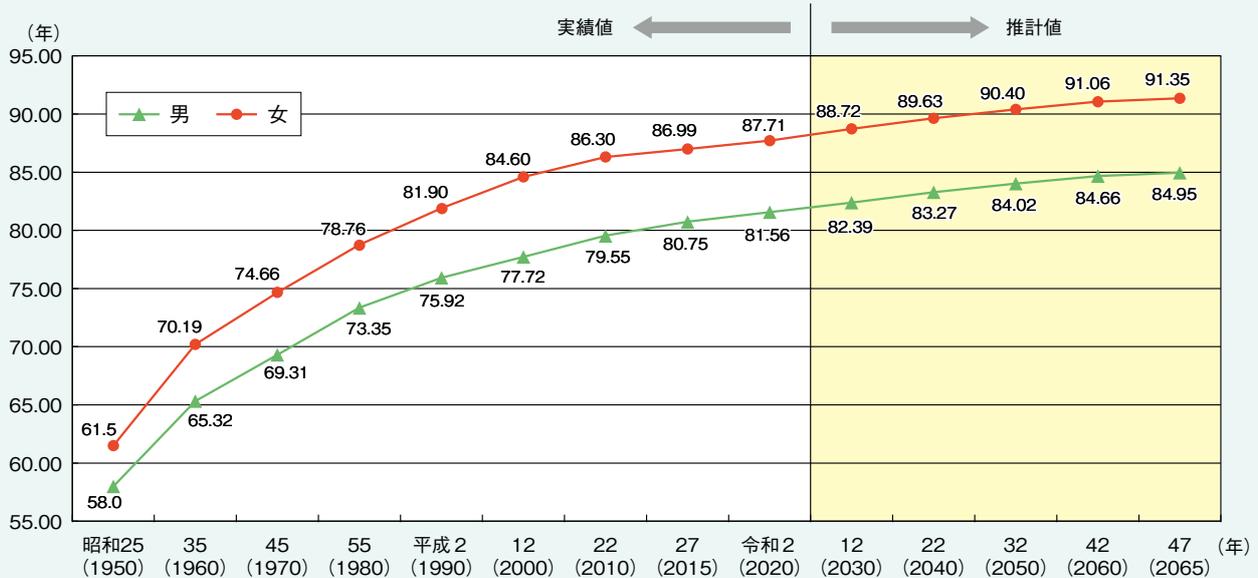


オ 将来の平均寿命は男性84.95年、女性91.35年

我が国の平均寿命は、令和2年現在、男性81.56年、女性87.71年と、前年に比べて男性は0.15年、女性は0.26年上回った。今後、男女

とも平均寿命は延びて、令和47年には、男性84.95年、女性91.35年（死亡中位仮定）となり、女性は90年を超えると見込まれている（図1-1-4）。

図1-1-4 平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2020年までは厚生労働省「完全生命表」、2030年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 （注）1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

2 高齢化の国際的動向

(1) 世界の高齢化は急速に進展

令和2（2020）年の世界の総人口は77億9,480万人であり、令和42（2060）年には101億5,147万人になると見込まれている。

総人口に占める65歳以上の者の割合（高齢化率）は、昭和25（1950）年の5.1%から令和2（2020）年には9.3%に上昇しているが、さらに令和42（2060）年には17.8%にまで上昇するものと見込まれており、今後40年で高齢化が急速に進展することになる。地域別に高齢化率の今後の推計を見ると、これまで高齢化が進行

してきた先進地域はもとより、開発途上地域においても、高齢化が急速に進展すると見込まれている（表1-1-5）。

(2) 我が国は世界で最も高い高齢化率である

先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は昭和55（1980）年代までは下位、平成2（1990）年代にはほぼ中位であったが、平成17（2005）年には最も高い水準となり、今後も高水準が続くと見込まれている（図1-1-6）。

表1-1-5 世界人口の動向等

	昭和25 (1950) 年	令和2 (2020) 年	令和42 (2060) 年 ※中位推計
総人口	2,536,431 千人	7,794,799 千人	10,151,470 千人
65歳以上人口	128,709 千人	727,606 千人	1,810,398 千人
先進地域	62,737 千人	245,648 千人	357,344 千人
開発途上地域	65,972 千人	481,959 千人	1,453,053 千人
65歳以上人口比率	5.1 %	9.3 %	17.8 %
先進地域	7.7 %	19.3 %	28.2 %
開発途上地域	3.8 %	7.4 %	16.4 %
平均寿命 (男性)	45.49 年	69.92 年	76.29 年
同 (女性)	48.49 年	74.72 年	80.64 年
合計特殊出生率	4.97	2.47	2.11

資料：UN, World Population Prospects : The 2019 Revision

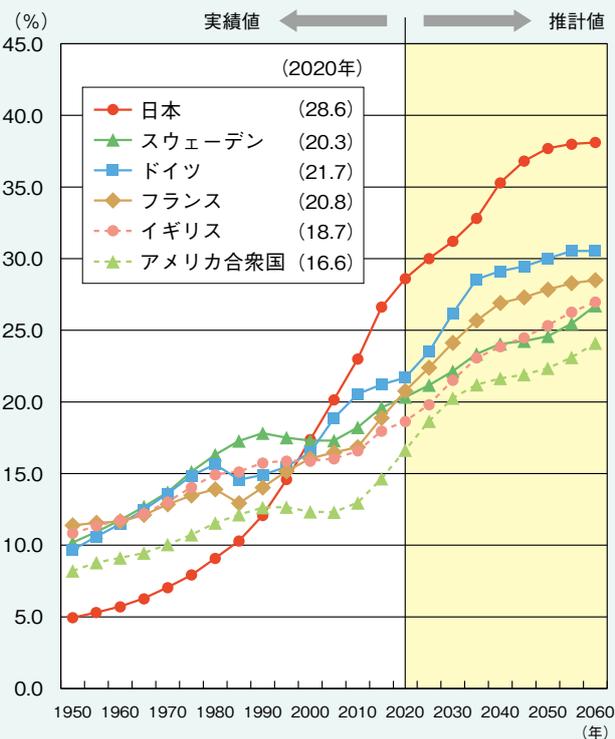
(注1) 合計特殊出生率及び平均寿命は1950 - 1955年、2015 - 2020年、2060 - 2065年

(注2) 先進地域とは、ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリア及びニュージーランドからなる地域をいう。

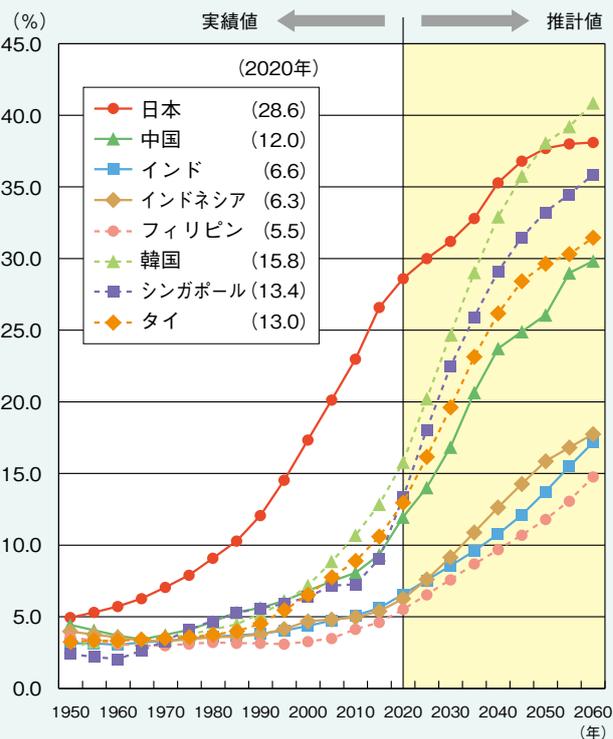
開発途上地域とは、アフリカ、アジア（日本を除く。）、中南米、メラネシア、ミクロネシア及びポリネシアからなる地域をいう。

図1-1-6 世界の高齢化率の推移

1. 欧米



2. アジア



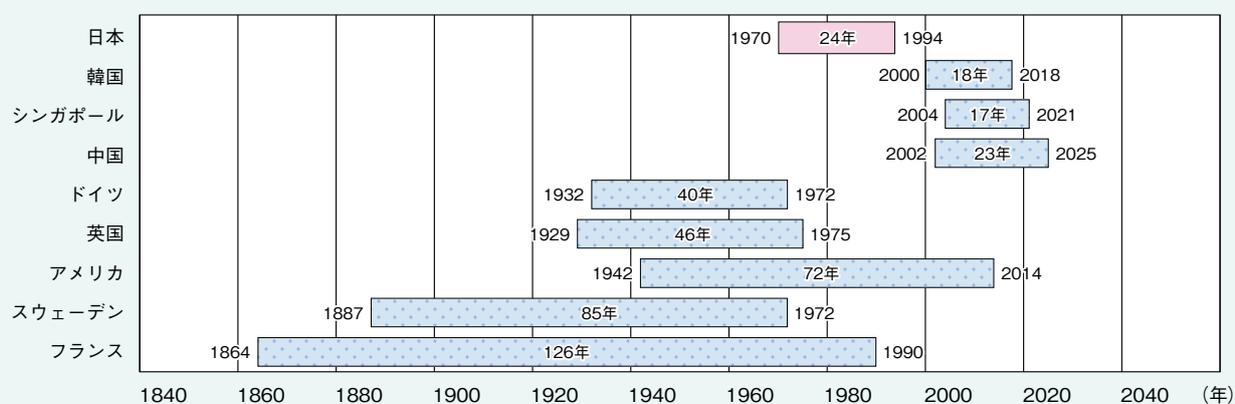
資料：UN, World Population Prospects : The 2019 Revision

ただし日本は、2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

高齢化の速度について、高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数（倍加年数）によって比較すると、フランスが126年、スウェーデンが85年、アメリカが72年、比較的短い英国が46年、ドイツが40年であるのに対し、我が国は、昭和45（1970）年

に7%を超えると、その24年後の平成6（1994）年には14%に達した。一方、アジア諸国に目を移すと、韓国が18年、シンガポールが17年など、今後、一部の国でも我が国を上回るスピードで高齢化が進むことが見込まれている（図1-1-7）。

図1-1-7 主要国における高齢化率が7%から14%へ要した期間



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」（2022年）

（注）1950年以前はUN, The Aging of Population and Its Economic and Social Implications (Population Studies, No.26, 1956) 及び Demographic Yearbook、1950年以降はUN, World Population Prospects: The 2019Revision (中位推計) による。ただし、日本は総務省統計局「国勢調査」、「人口推計」による。1950年以前は既知年次のデータを基に補間推計したものである。